



2014年2月17日（月）

フジサンケイビジネスアイ

エイジア メール配信システム開発など

研究体制や企業連携を強化

大手・中堅企業に向けてインターネットのマーケティングソリューションを提供するエイジアは、研究開発体制を強化する。現在は5人で構成されている開発グループを2つ設けてい

るが、2013年度中に新たに1グループを追加。また、外部企業との連携も進めていくほか、海外でのグループ化も検討する。自社開発のソフトに加え、顧客の要望に応じて作るカスタマ

イズ型ソフトに対するニーズが増えている。研究開発能力を増強する目的は、こうした作業を効率的に行うためだ。

新たなグループは社内のメンバーで構成されるが、それ以降の増設については受託開発のソフト会社など、外部パートナーを活用することも検討。「需要に合わせて臨機応変に対応でき

る開発体制を整えていく」（美濃和男社長）。また、海外ではタイとマレーシアで現地企業と連携しながら販売しているほか、ベトナムでは試験的にマーケティングを実施している。需要増が見込めるため、現地での研究開発も視野に入れる。

一方、研究開発に加え技術コンサルティング、営業活動を推

進するため社員の拡充にも力を入れる。とくに強化するのが新卒。これまでは中途採用でカバーしていたが、14年春には2人の新卒者が入社する。15年以降には3～5人ずつ確保していく計画だ。同社の主な製品はメール配信システムや、自動通知メールを販促メールに変えるシステムなど。